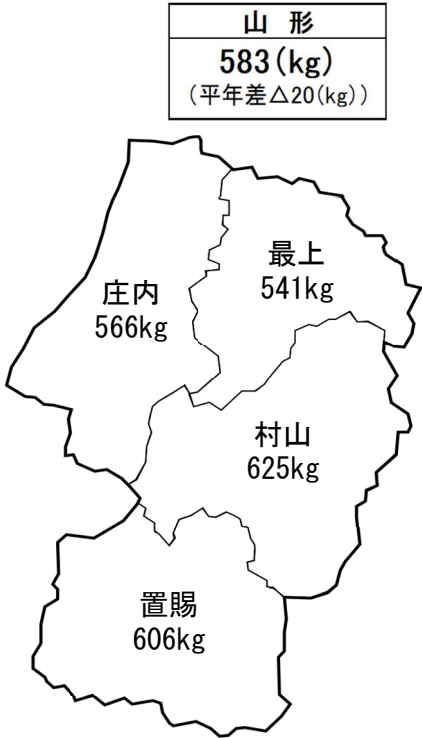


作物統計調査
令和6年産水稻の収穫量（山形）

— 10a 当たり収量は583kg —

- 1 令和6年産水稻の作付面積（子実用）は6万800ha（前年産に比べ200ha減少）となった。うち主食用作付面積は5万2,400haで前年産並みとなった。
- 2 水稻の10a 当たり収量は583kgとなった。
これは、全もみ数が、田植え後の低温や7月の日照不足により平年に比べやや少なくなり、登熟（もみの肥大、充実）が、出穂期以降おおむね天候に恵まれ平年並みとなったためである。
- 3 以上の結果、収穫量（子実用）は35万4,500t（前年産に比べ4,800t減少）となった。このうち、主食用の収穫量は30万5,500t（同3,100t減少）となった。
- 4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は97となった。

図1 作柄表示地帯別10a 当たり収量
（1.70mmのふるい目幅ベース）



注：「△」は、減少を示している。

表 令和6年産水稻の作付面積及び収穫量

区 分		作付面積（子実用）				10 a 当たり収量					収穫量（子実用）					主 食 用 作付面積	収穫量 （主食用）	作況指数
		実数	前年産との比較			実数	平年 との比較		前年産 との比較	実数	前年産との比較							
			対差	対比			対差	対比										
①	②	③=①×②	④	⑤=④×②	⑥													
		ha	ha	%	kg	kg	kg	t	t	%	ha	t						
山	形	60,800	△ 200	100	583	△ 20	△ 6	354,500	△ 4,800	99	52,400	305,500	97					
村	山	13,500	△ 200	99	625	5	7	84,400	△ 300	100	…	…	101					
最	上	9,250	△ 150	98	541	△ 35	△ 14	50,000	△ 2,200	96	…	…	94					
置	賜	12,400	100	101	606	△ 1	12	75,100	2,000	103	…	…	100					
庄	内	25,600	0	100	566	△ 37	△ 16	145,000	△ 4,000	97	…	…	94					

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、青刈り面積（飼料用米・WC S用稲等を含む。）を除いた面積である。

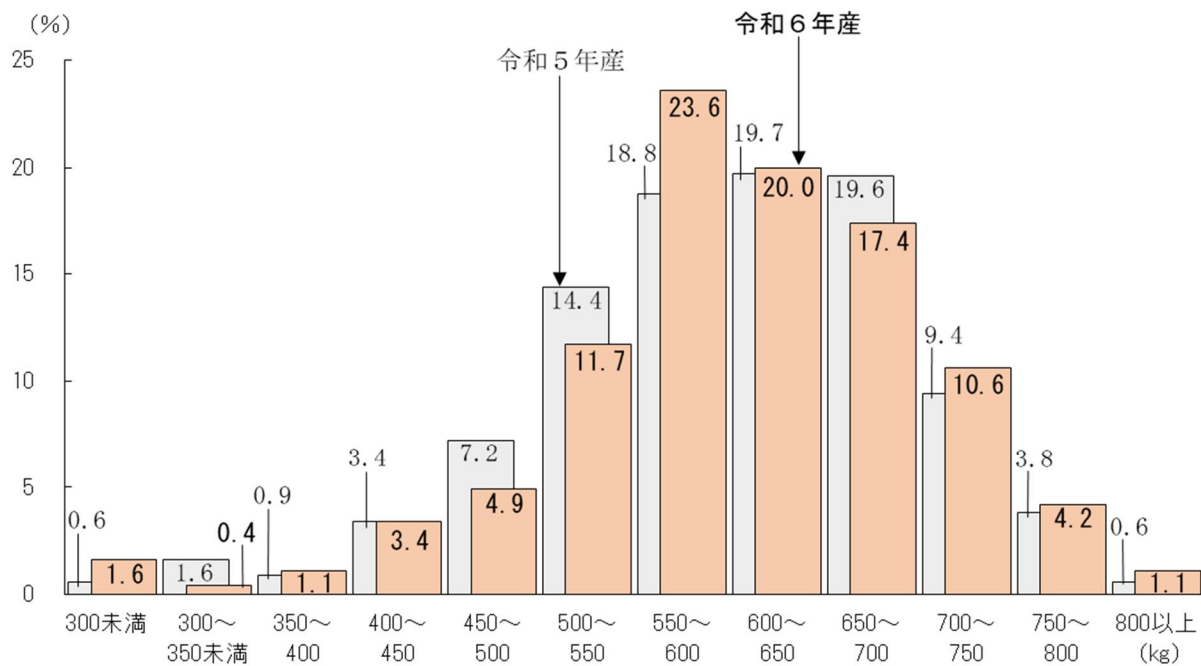
2 10a 当たり収量、収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、新規需要米（飼料用米を含む。）、備蓄米、加工用米等の作付面積を除いた面積である。

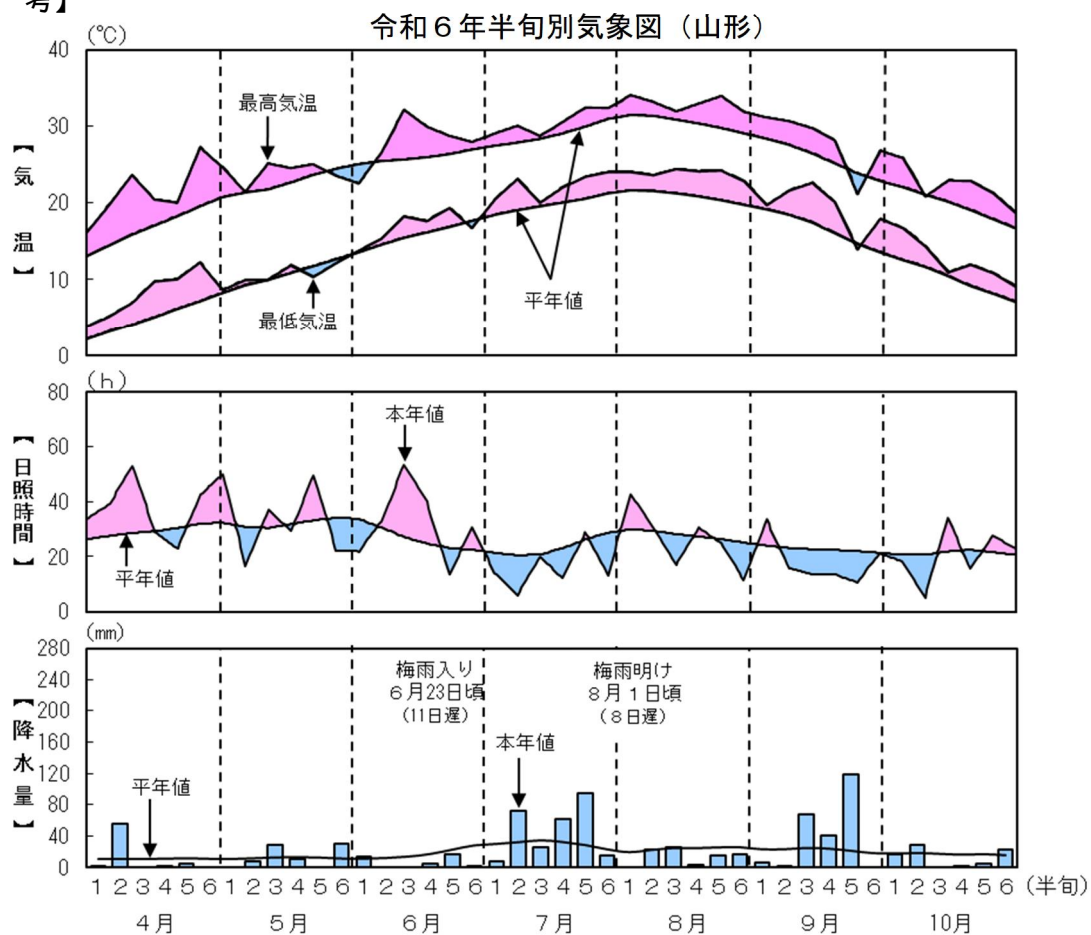
4 作柄表示地帯別の主食用作付面積及び収穫量（主食用）は、飼料用米、備蓄米、加工用米等の作付面積を把握していないことから「…」で示した。

5 作況指数は、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり収量の比率であり、過去5か年（平成30年産～令和4年産）に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（山形県は1.90mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。

図2 令和6年産水稻作況標本筆の10a当たり玄米重分布状況（山形）



【参 考】



資料：気象庁ホームページ

注：（ ）内の日数の遅速は、対平年差である。

お問合せ先

東北農政局 山形県拠点 統計担当

電話：023-622-7276（直通） 内線 342